

あそび 放送

No. 40

2007.3

■事務局

名古屋市立春田幼稚園

〒454-0983 名古屋市中川区東春田三丁目143

TEL(052)301-3610

■発行者

愛知県幼児視聴覚教育研究会

会長 伊藤 冴子

★乳幼児のテレビに関する調査結果

★第44回東海北陸地方放送教育研究大会報告

★第38回愛知県放送教育特別研究会報告

★第38回愛知県幼児視聴覚教育研究大会報告

★NHKすくすく子育てスクール

★番組紹介 あしたをつかめ

★第39回愛知県幼児視聴覚教育研究大会案内



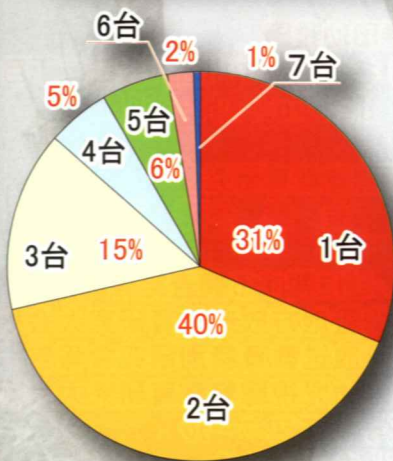
名古屋市宮西保育園 5歳児

愛幼児見2007

600名の

乳幼児のテレビに関する調査結果

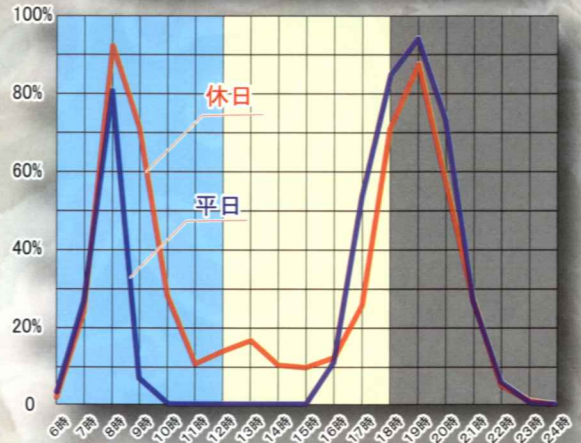
家のテレビ台数



家庭における乳幼児のテレビとの関わりを把握し、園での視聴覚活動に活かすことを目的として、10月に実態調査を行いました。同時に状況を記入してもらうことで、保護者自身が子どもの視聴の様子に関心を持つこともねらいとしました。

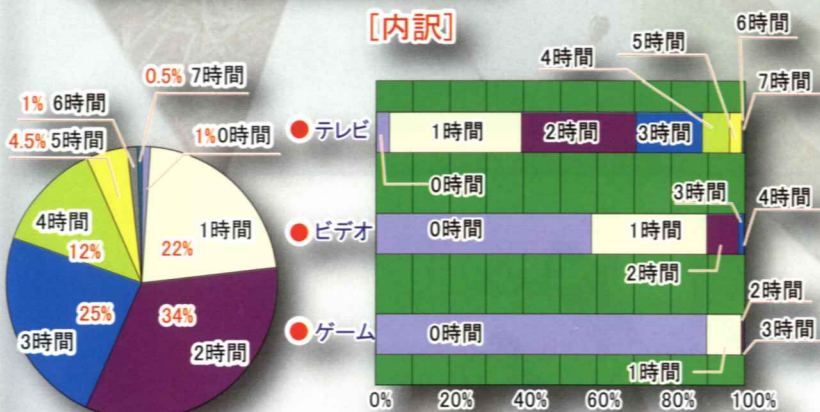
※人数は割合 (%)
で表示

テレビを見る時間帯グラフ



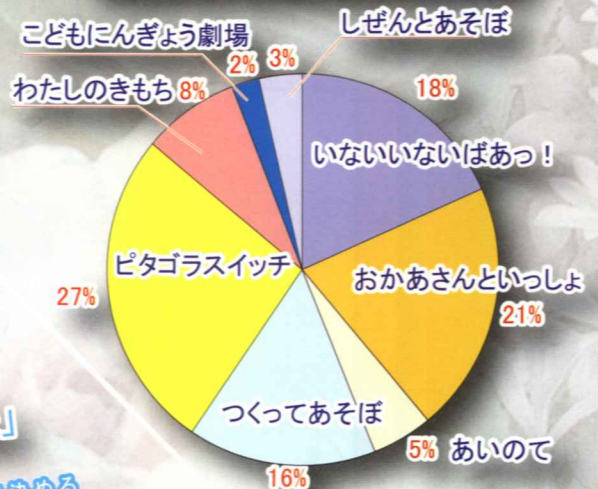
視聴する時間帯が食事時間と重なっていることが母親の悩みにもなっていますが、一方でこの時間帯に良質の番組があることが家族の団らんにつながるかもしれません。

平日、テレビ等見ている時間

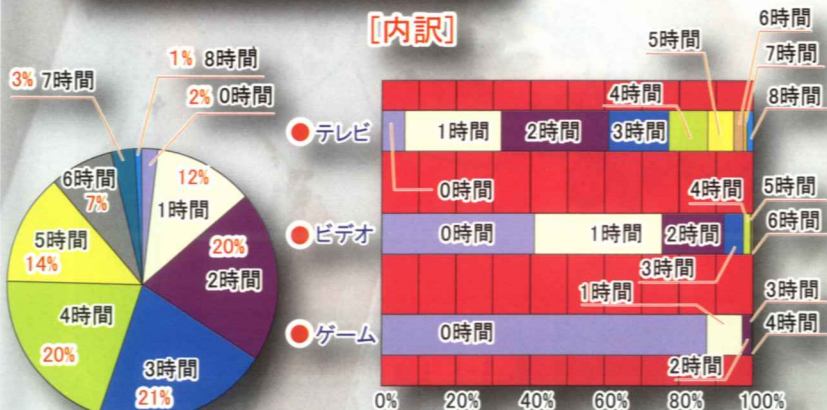


NHK放送

8つの番組を見ている割合



休日、テレビ等見ている時間



実際になかなか見られないものを目にしたり、知識を得ることができたりする良さを感じつつも、テレビとのつきあい方をどう身につければよいかわ悩む親の姿がありました。また、集中して長時間見ている状況を悩む親と、好ましく思う親の両方がいることも印象的でした。ゲーム利用に関しては、乳幼児期の興味関心はまだ低いものの、親などの大人の状況に影響を受けつつある姿も感じられました。

このような家庭での実態を受け、テレビを簡単に悪者にするのではなく、見方によって子どもの成長に大変有効なものとなることを、園で実践し家庭に伝えていくことが大切であると思われます。

- ① みんなで見る楽しさを味わう
- ② 番組が終わったらスイッチを消す
- ③ 番組で得た感動を生活やあそびに活かす

第44回東海北陸地方放送教育研究大会報告

第38回愛知県放送教育特別研究会報告

未来を拓く学びの場を創造しよう 平成18年8月18日(金)

部会研究「感じる心を育てる」

提案1

会場 岡崎市民会館

「自然に親しみ、 感じる心を 育てる」



- おたまじゃくしに足が生えたよ -
名古屋市 国風第三幼稚園 長谷川 美奈

番組「しぜんとあそぼ」の「あまがえる」を視聴してから、実体験の取り組みとしてカエルの卵を捕りに行き成長を観察、記録した。飼育体験を通して、子どもたちは興味・関心を深め、友だち同士共感し合った。今後も自然の営みを通して豊かな心を育てていきたい。



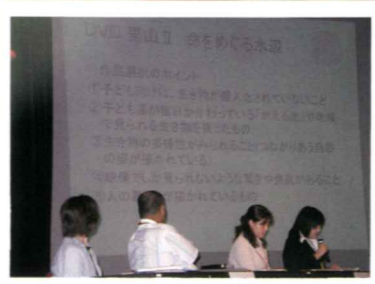
提案2

「何が見える？ 何が聞こえる？」



- 自然に心を開いて -
静岡県浜松市 早出幼稚園 鈴木 景子

ネイチャーゲームによる自然体験活動を行い、人の感覚と自然の多様性に子ども自身が気づくようになった。またDVDを視聴し、日常では体験することができない自然の姿に触れたことで知的好奇心が高まった。



名古屋市藤里保育園
後藤 のり子

助言



東京成徳大学教授
石崎 一記

- 視聴覚教材は、ふだん経験できないことが見られるので工夫して利用すると保育が広がっていく。保育者は、子どもたちと一緒に感動するような保育をしてほしい。
- メディアのメリットを生かし、効果的に利用することで実体験の裏づけとなり、広がりや深まりを与える。実体験とのバランスが大切である。保育者の関わりで大切なことは
 - ① 試行錯誤できる許容的な雰囲気をつくる
 - ② 共感する
 - ③ 自信を持たせる
 - ④ 幼児の育ちを信頼してゆっくり待つことである。
- 教材を選ぶ時は、作為的でなく、生き物同士の関わりを感じさせるようなよいものを選ぶ。

第38回愛知県幼児視聴覚教育研究大会報告

輝く瞳、ひびき合う心

平成18年10月25日(水)

- ともに学び、創り出す視聴覚教育 -

第1分科会

会場 NHK名古屋放送センター901会議室

「放送教育 制作担当者 からのメッセージ」



NHKエデュケーショナルこども幼児部
チーフプロデューサー 工藤 俊二 氏

「にほんごであそぼ」の第1回目の放送を視聴したあと、NHKがどう
いう思いで番組制作をしてきたかを伝えたいと話されました。子ども
は知識や意味で魅きつけるのではなく、言葉を音やイメージでとらえ面白
さを感じて欲しいと考えました。出演者のイメージも衣装などで工夫
しました。子どもは大人と違うレベルで言葉を楽しんでいる。

「つくってあそぼ」の番組は、積み木に何か
プラスする演出を考えています。子ども番組の
演出とは「おもしろい」というのが重要です。
また、「大人も子どももテレビを見ながら考える
ことが必要です。」と、制作担当者ならではの
講演でした。



第2分科会

「パソコン デジカメを 保育に生かす」



円通寺保育園 園長 安食 幹人 氏

会場 ウィルあいち 視聴覚ルーム

デジカメで撮影した写真を研修や保護者会に生かすことができるように、パソコンを活用した
初歩的な方法を教えていただきました。ハードウェア購入の手引きとして、パソコン、デジカメ、
プリンターについての詳しい説明や応用例、データベースとしての活用法などをゆったりとし
て楽しい雰囲気の中で受講
することができました。パソコン
の基礎から高度な技術まで
分かりやすく教えていただき、
実際にいろいろな場面に活用
したいと思いました。



第3分科会

「視聴覚教材 としての 絵本の活用」



刈谷市社会教育センター
母と子の図書室読書相談員 清水 美智子 氏

会場 ウィルあいちセミナールーム

絵本の読み聞かせには幼い子どもたちに考え方や理解力を深める力があります。そして、ブックトークには人の話を考えながら聞く力と自分の考えを他者に伝える話し方を豊かにしていく力があります。幼い子どもたちを良識のある大人に育てる人育てに役立つ絵本の活用法を教えてくださいました。

テーマごとに絵本を紹介しながら読み聞かせの大切さについて講演していただきました。



第4分科会

「身近な材料を 使った 視聴覚教材作成」



愛幼視 公立幼稚園 研究委員

会場 名古屋市立第一幼稚園

担当の先生から説明の後、用意されたいろいろな色柄の布や紙を作り方の資料を見ながら14枚の紙皿に「はらぺこあおむし」や「食べ物」などを工夫しながら貼っていきましました。和気あいあい楽しみながら製作できました。最後に全員が出来上がった作品を見せあいました。



公開イベント

「NHKすくすく 子育てスクール」

平成18年10月21日(土)
会場 中村保育園

主催：NHK名古屋、後援：愛知県幼児視聴覚教育研究会

平成18年10月21日(土)、中村保育園でNHK教育「すくすく子育て」の関連イベントを実施し、愛幼視も後援しました。

当日は、子どもづれの若い夫婦がたくさん参加し、番組にも出演している岩立京子さん(東京学芸大教授)などに、子育ての疑問・質問をする姿が見られました。

愛幼視からも7人の研究委員が参加し、当日のお手伝いをしました。



【子育てに疲れたママを元気にする体操中の光景】

番組紹介

制したをつかめ 平成若者仕事図鑑

その現場をVTR取材しながら、仕事のディテールに迫ります。
若い世代が、仕事に興味を持ち、自分の将来を考えるきっかけになれば、
と考えています。

「将来、どんな仕事を選んだらいいのか・・・」
「社会で“働く”とき、どんなことに気をつければいいんだろう・・・」
“やりがい”のある自分の道を見つけだすきっかけをつかめず、迷い・
悩む若者たち・・・
この番組は、社会へ出ていくことを考え始めた10代後半～20代前半の
若者にむけて、さまざまなジャンルの職業を紹介しながら、その特徴や魅
力について考えてもらう“仕事ガイダンス番組”です。
実際の職場で働く若者たちが、具体的に仕事のどんなところに打ち込み、
どんな点に悩んでいるのか。自分の仕事についてどんな思いを抱いている
のか・・・。

放送時間 本放送 毎週月曜日 午前7:30～7:55<教育>
再放送 土曜日(金曜深夜) 午前0:00～0:25< 〓 >

平成19年度

第39回

愛知県幼児視聴覚教育 研究大会のご案内

● 期日:平成19年11月1日(木)
会場:名古屋市熱田文化小劇場

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号

TEL(052)-682-0222

● 発表園:名古屋市宮西保育園

〒456-0053 名古屋市熱田区一番三丁目2-10

TEL(052)-682-6580

テーマ 自然に親しむ中で、心と心の触れ合いを楽しむ - 実体験とメディアの利用を通して -

小川や草原のない環境にあって、自然との触れ合いを大切にしたい、命の育みを伝えたいという思いより、昆虫の飼育や野菜の栽培を行っています。

また、なごやエコキッズの環境サポーターによる自然観察会や、栄養士による「プチ食育」も通常の保育に取り入れ、子どもたちの興味や関心を広げるきっかけとしています。



編集後記

児童虐待やいじめによる自殺など、悲しいニュースが絶えない日々です。様々な人とのつながりの大切さや、人との触れ合いの楽しさが分かり、世代を超えて交流できる社会になると良いと思います。メディアが、その手助けができると望ましいと考えています。

連絡先

NHK 名古屋放送局事業部内

愛知県幼児視聴覚教育研究会 事務局

〒461-8725 名古屋市東区東桜1-13-3

TEL. 052-952-7070 FAX. 052-952-7036